

於ケル所ノ是等ノ家族ノ人々ハ一日千秋ノ思ヲ致シマシテ、明ケ暮レイツ歸ルカト云ツテ非常ニ待チ忙ビテ居ルヤウナ情勢デアリマス、若シ是等ノ人々ガ越年スルヤウナコトガ、アリマシタナラバ、言フ迄モナク飢餓ト寒氣ニ襲ハレマシテ、如何ナル悲惨事ガ起ルデアリマセウカ、恐ラクハ國民、我々同胞ト致シマシテハ、一人トシテ一片ノ涙ナキヲ得ナイ者ハナイト私ハ考ヘルノデアリマス、又現在我々國ガ敗戰國デアアル、降伏シテ居ルノデアアル、今や敵モ味方モアリヤシナイ、從ツテ諸外國ニ於キマシテモ、恐ラクハ我々國ニ對スル非常ナ同情ヲ以テ迎ヘラレルト云フコトヲ私ハ信ジテ疑ハナイノデアリマス、幸ニ政府ノ努力、非常ナル所ノ努力、又「アメリカ」ヲ初メ聯合國ノ絶大ナル援助ニ依リマシテ、今日相當ノ歸還ヲ見マシタコトハ、誠ニ感謝ノ至リニ堪ヘナイ次第デアリマス、併シナガラ現在問題トナルノハ、「ソヴィエト」占領管内ニ於ケル同胞殘留者ノ問題デアリマス、私ノ聞ク所ニ依レバ、未ダ百萬ノ人ガ殘留シテ居ルト云フコトデアリマス、現ニ大連ニ於テハ二十四萬人ノ人々ガ居ル、「ソヴィエト」ニ於テハ大連港ニ引揚船ヲ入レルコトニ付テハ、同意サレテ居ラナイ、又滿洲ノ奥地方面ニ於ケル所ノ人々ハ、消息ガ分ラナイ、風ニ便リニ依ツテ或程度ハ分ルデアリマセウケレドモ、現在ニ於テハ其ノ消息ハ分

ラヌノデアリマス、諸君モ御承知ノ通り、「ボツダム」宣言、成ル程公約デアアル、併シナガラ聯合國ニ於テハ之ヲ認メテ居ル、降伏シテ武裝解除ヲシタル以上ハ、軍隊ハ歸還サセルト云フコトハ、明カニ約束ガ出來テ居ルノデアリマス、聞ク所ニ依レバ、滿洲ニ於ケル所ノ大部分ノ軍隊ハ「シベリア」ニ送ツテ強制労働ニ服サレテ居ルト云フ噂ガアル、私ハ此ノ噂ヲ信ジタカハアリマセヌ、併シナガラ「ソヴィエト」政府ニ於キマシテモ、勿論血モ涙モアルコトニ付テハ、私ハ變リハナイト信ズル、又「ソヴィエト」我々國ノ關係ハ御承知ノ通り、終戰一週間前迄ハ中立條約ヲ守ツテ所謂親善ノ國柄デアアル、又同國トハ戰爭ヲシテ居ラシテ居ラヌノデアリマス、恐ラクハ私ハ「ソヴィエト」政府ニ於ケレマシテモ、人道ニ基イテ適當ノ處置ヲ講ゼラレルモノト私ハ深信ジテ居ルノデアリマス、最近聞ク所ニ依レバ、新聞紙ノ發表ニ依リマスルト云フト「アメリカ」ト「ソヴィエト」ト交渉シテ居ル、新聞ノ報道ハマチ／＼デアリマスルガ、「ソヴィエト」ハ我々同胞ヲ歸シタイケレドモ、船ヲ送ラナイ、「アメリカ」ガ船ヲ送ラナイト云ツテ居ル、又「アメリカ」側ニ於テハ、サウデハナイ、船ヲヤルトシテモ「ソヴィエト」ガ兵隊其ノ他ヲ歸サウトハシナイト云フ、新聞ノ報道ハマチ／＼デアリマスルガ、果シテ其ノ眞相ハドウデアアルカ、國內ニ於ケル所ノ

家族ノ人々ハ、一日千秋ノ思ヲ致シマシテ、自分ノ子供、自分ノ兄弟、是ガ早ク歸ルコトヲ待チ忙ビテ居ルノデアリマスルガ、吉田總理大臣、外務大臣ハ、此ノ間ニ於ケル所ノ消息ハ如何ナル事情ニナツテ居ルカ、勿論今日迄非常ノ努力ヲナスツテ居ルデアリマセウ、此ノ努力ニ對シテハ、國民ハ感謝ヲ致シテ居リマスガ、只今申上ゲマシタル通り、若シデス、是ガ越年ニ互ルガ如キコトガアツタナラバ、由々シイ問題ガ起リ、非常ナル所ノ悲惨事ガ起ルコトヲ覺悟セネバナラス、我々國民ト致シマシテハ、之ヲ救済スルト云フコトニ付テ、如何ナル手段ヲ執ツテモ、如何ナル方法ニ依ツテモ、面目ヤ、或ハ見エニ四ハレルト云フ場合ヂヤアリマセヌ、（拍手）何トシテモ此ノ際之ヲ救済スルト云フコトニ付テ、最善ノ努力ヲ拂ハレムコトヲ希望シマス、私ハ家族ニ代ツテ政府ニ懇請スル、質問デハアリマセヌ、懇請スル、ドウカシテ此ノ問題ヲ解決スルコトニ付テ最善ノ努力ヲシテ貰ヒタイ、又今日迄ノ經過、今後ニ於ケル所ノ見透シガ如何ナル情勢ニアルカト云フコトヲ、此ノ機會ニ於テ吉田總理大臣ヨリハツキリ御答辯ヲ願ヒタイと思フノデアリマス、次ニ御伺フ致シタイコトハ、現在我々國ノ社會情勢ノ不安デアリマス、政府ハ現在我々國ノ世相ヲドウ御考ニナツテ居リマスカ、コンナコトデ日本ノ再建ガ出來ルト一體御考ニナ

ツテ居リマスカ、現在我々國ハ言フ迄モナク敗戰國デアアル、未ダ獨立國デハアリマセヌ、從ツテ敗戰後我々國ノ現狀ハ、國家モ國民モ非常ナ窮境ニ陥ツテ居ル、此ノ貧乏世帯、現在ハ貧乏世帯、有ラユル方面ニ於テ力ハナシ、此ノ貧乏世帯ヲ切抜ケルト云フコトニ付テハ、國民一般ガ非常ナル所ノ覺悟ト決心ヲ以テ臨マナケレバナラスコトハ言フ迄モナイコトデアリマス、私ハ現在ノ敗戰ノ現實ヲ、政府ヲ初メ國民ガ之ヲ認識シテ居ルカ、敗戰ノ國民ハ、國民有ラユル方面ノ人々ハ之ヲ分タナケレバナラスコトデアリマス、然ルニ先ツ第一ニ政府ノ態度、國家ノ指導者トナリ、國民ノ模範トナルベキ所ノ政府ノ態度ガ一體ドウデアアルカ、果シテ政府ハ現在ノ敗戰ヲ認識シテ居ルカ、我々國ノ財政ハ言フ迄モナク非常ニ窮乏ヲ告ゲテ居ル、然ルニデス、財政ヲ出來ルダケ緊縮ヲセネバナラスコト云フ此ノ場合ニ於テ、群雄割據、或ハ各省分取主義、言葉ハ甚ダ穩カデナイカモ知リマセヌガ、有ラユル方面ニ於テ、私ヲシテ言ハシムルナラバ、無謀ナ計畫ヲ立テテ居ルト云フコトハ、見逃スコトハ出來ナイノデアリマス、私ハ詳シクハ申上ゲマセヌ、併シナガラ此ノ問題ニ對シテ、大藏大臣ハ財産稅ニ依ツテ之ヲ補填スルト云フ、現ニ一般會計ニ於テハ二百五十五億ノ赤字ヲ補填スル、其ノ他追加豫算ヲ併セマシテモ莫大ナ數ニ上ルノデアリマス、

一體政府ハ財産稅ガ幾ラ取レルト考ヘテ居ルガ、初メハ千億ト云ヒ、五百億ト云ヒ、最近ニ於テハ三百五十億モ取レルカ取レナイカ、恐ラクハ其ノ中ノ三分ノ一ハ現金或ハ預金ニ於テ取レルカ、後ハ物納メ、一體之ヲドウ始メスル積リカ、恐ラクハ私ハ政府當局ガ、現在我々國ハ敗戰國デアツテ、財政窮乏デアアル、從ツテ此ノ敗戰ヲ切抜ケルニ付テハ、果シテ自覺ヲ持ツテ居ラレルカドウカ、私ハ之ニ對シテ非常ナ疑問ヲ持ツテ居ル、更ニ又國民一般ニ對シマシテモ、國民有ラユル人々ガ敗戰ノ現實ヲ認識シテ居ルカ、敗戰ノ苦シミヲ御互ニ分ケ合フト云フ覺悟ヲ持ツテ居ルカ、若シ此ノ覺悟ガアツタナラバ、勞働爭議ノ如キモノガ起ルベキ筋合デハナイノデアリマス、勿論今日民主的ニ勞働組合ノ健全ナル發達ヲ圖ルコトハ是ハ當然ノコトデアリマスガ、現在ノヤウニ勞働爭議ガ到處ニ起ツテ居ル、或ハ其ノ間一部ノ人ガ「デモクラシー」ヲ履キ違ヘ、己ノ權利ノミヲ主張シテ、義務ヲ忘レテ居ル、斯ウ云フ傾向ガアリハシナイカ、又現在我々國ニ於テハ資本家ラシイ資本家ナドハアリハシナイ、事業經營者ハ勞働爭議ヲ懼レ、經濟界ノ不安ノ爲ニ、積極的ニ仕事ヲスルト云フヤウノ意思ヲ持ツテ居ラナイ、コンナコトデ一體日本ノ再建ガ出來ルカ、勿論企業整備ヲ行フト云フコトニ付テハ、先ツ第一ニ人ノ整理ヲ行バナケレバナラス、例

へバ國鐵爭議ノ如キ、勞働者諸君ハ之ヲ成功ダト云フ、國鐵ノ如キハ、御承知ノ通り民營事業デヤナイ、彼等ノ要求ヲ容レルコトニナレバ、結局國家ノ負擔ニナル、國家ノ負擔ハ要スルニ國民各自ノ負擔ニナルノデアリマス、果シテ現在ノ如キ情勢ニ於テ、合理的ノ產業整備ガ出來ルカ、又海員組合ノ騒動ノ如キモ未ダ解決セヌト云フコトデアリマスガ、是等ノ問題ニ於キマシテモ、運賃會ガ金ヲ餘計出シサヘスレバ解決ヲスル、其ノ金ヲ出ス問題ハ誰ガ負擔スル、要スルニ國家ガ負擔スル、運賃會ニ對スル所ノ補助金ヲ増額スル、ソレヲ一體誰ガ負擔スル、要スルニ國民ノ頭ニ掛ツテ來ルコトデアリマス、又一面國民ガ果シテ此ノ敗戦ノ現實ヲ把握シテ居ルカ、國民御互ガ此ノ苦シミヲ分ケ合フト云フ心掛ニナツテ居ルカ、新圓獲得者ノ或一部ノ如キハ、濫費ヲ行ヒ、言語道斷ノ振舞ヒヲ致シテ居ルト云フコトハ各地ニ現レテ居ル、是ガ我が國ノ社會ノ上ニ、風教ノ上ニ、或ハ又少年ノ感化ノ上ニ、非常ナル所ノ惡影響ヲ及シテ居ルノデアリマス、又一部ノ者ハ如何ニシテ新圓ヲ獲得スルカ、新圓豫ギニ憂身ヲヤツシテ汲々トシテ居ル、是ガ現在ノ社會情勢デアリマス、果シテ是等ガ生産方面ニ其ノ資金ガ使ハレテ居ルカ、私ハ若シ現在ノ儘推移ヲ致シマシタナラバ、勞資トモ共倒レヲ致シマシテ、我が國ノ運命實ニ危殆ニ瀕スルト私ニハ

思ハレルノデアリマス、要スルニ斯カル結果ヲ來シマシタコトハ、先ツ第一ニ經濟界ノ不安、生活ノ不安、是等ガ重大ナ問題デアリマス、現在ノ儘ニ委シテ居リマシタナラバ、恐ラクハ失業業者ガ續出スルデアリマセウ、故ニ政府ハ失業業者ヲ出來ルダケ作ラナイヤウノ政策ヲ行ハナケレバナラス、從ツテ又失業業者ガ出來タナラバ、之ニ對スル失業對策ヲ急速ニ行ハナケレバナラスト云フコトガ、政府ノ重大ナル所ノ責任デアリマス、故ニ私ハ此ノ際政府ガ我が國ノ敗戦ノ現實ヲ能ク國民ニ自覺ヲサセテ、現在ノ弛緩シテ居ル所ノ人心ヲ引締メル、是ガ最も重要ナ問題ト考ヘルノデアリマスガ、之ニ對スル所ノ政府ハ如何ナル御考ヲ持ツテ居ルカ、此ノ點ニ付キマシテ國民ノ安心ノ行クヤウナ御説明ヲ願ヒタイ、次ニ御伺ヒヲ致シタイコトハ、經濟問題デアリマス、大藏大臣ハ御差支ガアツテ御出席ガナイサウデアリマスガ、國務大臣ハ經濟安定本部ノ長官ト致シマシテ、我が國ノ經濟ノ元締ヲナシテ居ル方デアリマス、私ハ先般大藏大臣ガ記者團トノ會見ニ於テ、現在ノ新圓ノ大部分ハ退藏サレテ居ル、退藏サレテ居ルカラ、政府ノ信用ヲ證據立テルモノデアル、從ツテ又「インフレ」ニ對スル所ノ或程度ノ抑制デアル、ト云フ意味ノ御意見ヲ發表サレテ居リマス、果シテ私ニハ事實デアルカドウカ分ラヌ、若シ是ガ事實デアルト致シマシタナラ

バ、實ニ驚キ入ツタ所ノ御意見デアルト云ハナケレバナラス、通貨ハ決シテ死物デアリマセヌ、何時デモハ活動スル能力ヲ持ツテ居ル、從ツテ又果シテ現在ノ新圓ガ事業資金ニ廻ツテ居ルカドウカ、恐ラクハ是ハ大藏大臣ニ於キマシテモ御調査ニナツテ居リマセウ、私ノ調査ニ依リマスと云フト、現在我が國ノ新圓ハ殆ド六百億圓ヲ突破シテ居ル、此ノ分布ガ一體ドウナツテ居ル、生活資金ニ對シテハ四十二「パーセント」、戰災者ニ對スル所ノ支拂ガ十九「パーセント」、貸銀係給ニ對シテハ二十八「パーセント」、驚ク勿レ產業資金ニ對シテハ十一「パーセント」デアリマス、勿論是ハ推定デアリマスガ、現在ノ新圓ガ果シテ事業資金ニ廻ツテ居ルカ、通貨ハ言フ迄モナク循環性ヲ持ツテ初メテ效果ガアル、大藏大臣ノ如ク退藏サレテ居ル、死藏サレテアル、是デ「インフレ」ノ防止ガ出來ルト云フコトノ御考ヲ持ツテ居ツタナラバ、以テノ外デアリマス、更ニ又此ノ退藏シタル金ヲ金融機關ニ集メル、勿論是ハ當然デアリマス、果シテソレガドウナツテ居ルカ、私ノ調査ニ依レバ、現在剩餘金ガ約百四十億、貸出ガ七十五億、一體幾ラ事業資金ニ廻ツテ居ルカ、現在ノ新圓ハ私ガ今申上ゲマスル通り、殆ド不生産的ニ、如何ニシテ新圓ヲ獲得出來ルカ、如何ニシテ新圓ヲ稼グコトガ出來ルカ、之ニ狂奔シテ居ルト云フ現在ノ社會ノ實情デアリマ

ス、政府ハ果シテ此ノ退藏サレタル所ノ新圓ノ金融機關ニ吸收スルコトニ付テ、積極的ノ御考ヲ持ツテ居ルカ、若シ此ノ退藏サレタル新圓ガ金融機關ニ積極的ニ吸收サレテ、而シテ是ガ事業資金ニ廻ラザル以上ハ、決シテ我が國ノ産業ハ興リハシナイ、私ハ決シテ新圓ヲ再封鎖シロトハ言ハナイ、ドウカ是等ノ方策ニ對シテ國務大臣ノ明確ナル所ノ御答辯ヲ伺ヒタイ、以上私ノ質問ニ對シマシテ、明確ナル所ノ御答辯アラムコトヲ希望致シマス（拍手）

【國務大臣吉田茂君登壇】

○國務大臣（吉田茂君） 海外同胞引揚救護ノ問題ニ付テ、板谷君ニ私カラ御答ヘ致シマス、海外同胞引揚問題ニ付テハ、此ノ議場其ノ他ニ於テ屢々御報告致シテ居リマスガ、中國、南方諸地方カラノ引揚ハ、一部ヲ除キマシテ完了致シツ、アリマス、少クトモ今年ノ末若シクハ來年ノ初メニハ、總テ完了スル見込デアリマス、獨リ御話ノ通り、「ソヴィエト」管下ニ於ケル問題ニ付テハ甚ダ苦慮致シテ居リマス、御話ノ通り何等ノ消息モ得ル能ハズ、又引揚歸還者ノ先ノ見据エニ付テモ甚ダ見据エガ立チニクイノデアリマス、此ノ點ニ付テハ板谷君ノ懇請ヲ俟ツ迄モナク、政府ト致シマシテハ、日夜此ノ問題ニ焦慮致シテ居リマス、又聯合國ニ於テモ「ソヴィエト」政府ト種々交渉ヲ重ネテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリ

マス、併シナガラ然ラバ前途如何ナル方法ガアルカ、日本現在ノ狀況ニ於キマシテハ、聯合國ニ懇請スル以外ニ方法ハナイノデアリマス、若シ又方法ガ、具體案ガアルト仰シタルバ、參考迄ニ伺ヒタイモノト思ヒマスガ、不幸ニシテ政府ト致シマシテハ聯合國ニ懇請スル以外ニ方法ハナイノデ、又仕合セ聯合國ニ於テハ此ノ問題ニ付テ、日本政府ノ爲ニ同情ヲ以テ種々「ワシントン」ニ於テ、現ニ交渉致シテ居ル管デアリマス、又其ノ實績ニ付テハマダ尙等閑ク所ガアリマセヌガ、併シナガラ同情ヲ以テ日本政府ノ爲ニ交渉ヲシテ居ルト云フコトノ事實ハ確認スベキモノガ多クアリマス、是ガ現在ノ狀況デアリマス、御答ヘ致シマス

【國務大臣藤桂之助君登壇】

○國務大臣（藤桂之助君） 只今新圓ノ問題、之ニ關聯シマスル經濟不安等ノ問題ニ付キマシテ御尋ガゴザイマシタ、此ノ問題ニ付キマシテハ、私カラ御答ヘ申上ゲルノハ本筋デハナイト存ジマスルケレドモ、大藏大臣ハ已ムヲ得ナイ御所用ノ爲ニ御出席ガアリマセヌノデ、私ノ關スル限リ考ヲ申上ゲマス、本年ノ二月以來ノ金融財政措置ニ依リマシテ、少ク共通貨ノ部面ニ健全ナ狀態ガ現レルト、誰シモ確信シテ居リマス、是ガ今日一方ニハ圓ノ偏在トナリ、之ガ何等產業資金ニ廻ルコトモナク、徒ニ國民ノ不安ヲ増シテ居ルト云フコトハ、甚ダ遺憾ノ狀態デアリマ

ス、政府ニ於キマシテモ各方面、如何ニシテ新國ヲバ徒ラニ退藏セシムルコトナク、是ガ又消費ノ方面ノミニ向イテ「インフレーション」ヲ助長スルヤウナコトノナイヤウナコトニ付キマシテハ、腐心シテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマスルガ、ナカノ起死回生ノ妙藥ハアリマセヌ、要スルニ何處ニ根源ガアルカト申シマスレバ、申上ゲル迄モナク、本年ノ春以來政府ノ執ラムトスル戰時補償打切ニ關聯シマスル一聯ノ施策ガ如何様ニ相成リマスルカ、又賠償物資ノ提供ニ基キマスル産業ノ再編成ガ如何様ニ相成リマスルカ、實ハ國內ノミデ解決シ得ナイ多クノ問題ガアリマスル爲ニ、既ニ財界ノ將來ノ見透シガ附クベキモノガ、容易ニ附キ得ナイ残念サガソコニゴザイマス、此ノ點ニ付キマシテハ、政府各方面ノ關係方面トノ理解ヲ得ル爲ニ、又其ノ下ニ新シイ經濟再建ノ途ガ附ク爲ニ孜々努力致シテ居リマス、斯様ナ方面ノ見透シガ附キマシテ、將來ノ産業ガ如何様ニ立直ルカト云フコトノ見極メガ段階國民ノ間ニ附クヤウニナリマスレバ、自然ト金融機關ニ對シマスル信用モ回復スル、又産業ニ對シマスル投資ノ方面モ見易クナル、只今徒ラニ圓ノ死藏サレノハ、要スルニ將來ニ對スル不安カラト存ゼラレマス、是ガ根本的ニ除去セラレマスレバ、自然ト圓ノ圓滑ナル運轉モ融通モ行ハレ得ルモノト存ジマス、左様ナ意味合ニ於キマシ

テ、經濟安定本部ニ於キマシテハ、目前ノ施策ニ付テハ何モヤツテ居リマセヌ、併シナガラ第一番ニ國民ノ生活ヲ安定セシムルモノハ、先ヅ食生活ノ安定、之ニ次デハ差當リ戰時補償打切ニ伴ヒマス善後措置ヲ、少シデモ國民ノ不安ヲ除去スルヤウナ方面ニ持ツテ行クコトノ施策、同時ニ是等ノ經濟ノ立直シノ爲ニ、國內ニ不足ノ物資ヲ外國外カヲ出來ルダケ有利ニ多量ヲ輸入シタイ、斯ウ云フヤウナ應急的ノ方面ニ各關係ノ各省ト力ヲ併セテ參リマス、要スルニ根本的ニ國民ノ將來ニ對スル不安ヲ除去スル、是ガ根本的源泉ノ圓ノ健全性ヲ取戻ス所以デアラウト考ヘマス、私共ハ種々其ノ方面ノ努力致シテ居リマス、應急ノ問題ニ付キマシテハ大藏當局カラ御答辯ガアル方ガ間違ヒナクテ宜イト思ヒマスノデ、私ハ斯様ニ考ヘテ努メテ居リマスルコトヲ申上ゲマス

○議長(公爵徳川家正君) 板谷順助君

〔板谷順助君登壇〕

○板谷順助君 海外同胞ノ引揚ノ問題ニ對シテ只今總理大臣、外務大臣ノ御答辯デハ、國內ニ於ケル所ノ家族ハ満足致シマセヌ、勿論聯合國ノ援助、聯合國ノ非常ナル御努力ニ俟タナケレバナラヌコトハ當然ノコトデアリマス、併シナガラ政府ガ之ニ對スル所ノ如何ナル手ヲ打ツテ居ラレルカ、又「ソヴィエト」ハ同胞ヲ歸シタイケレドモ船ガナイト云フ話ヲシテ居ル、「アメリカ

カ」側ノ方ニ於ケレマシテハサウヂヤナイト言フ、是ハ新聞紙ニ發表サレテ居ル、此ノ間ニ於テノ真相ハ一體ドウデアルカ、ドウカ私ハ總理ガモット深切丁寧ニ、一日千秋ノ思ヒヲシテ今ニ歸ルカ、明日ハ歸ルカト待ツテ居ル所ノ家族ニ對シテモット深切ナ御答辯ヲ一ツ願ヒタイ、又太藏大臣ハオイデニナラヌガ爲ニ徹底的ナ御答辯ヲ得ラレマセヌガ、只今國務大臣ノ御話デハ、其ノ中ニハ我が國ノ經濟界ハ安定スルダラウ、併シナガラ恐ラクハ從來ノ政府ノ政策ノ施策ヨリハ輿論ガ先走ツテ居ル、輿論ガ承知シナイ、如何ニ政府ガ辯明サレマシテモ國民ハ承服ヲシナイ今日ノ現狀デアリマス、政府ハ如何ニシテ今日政府ノ信用ヲ維持スルカト云フコトニ付テ積極的ニ如何ナル所ノ政策ヲ採ルカ、是ガ先決問題デアル、甚ダ失禮ナ言ヒ分デアリマスケレドモ、勞働爭議ニ對シテモ、其ノ他ノ問題ニ對シテモ政府ノ態度ハ所謂信念ト勇氣ヲ缺イテ居ル、其ノ結果却テ國民ヲ迷ハセル結果ニナルモノト私ハ思フ、又總理大臣ニ對シテ、私ハ現在ノ有ラユル國民ニ對シテ今日我が國ノ敗戦ノ現實ヲ能ク認識サセロ、國民御互ヒ此ノ敗戦ノ苦シミヲ分ケ合ハナケレバナラヌト云フ重大ナ時期デ、内輪ニ爭ツテ居ル場合デアリマセヌ、何トシテモ國民ガ協力一致シテ、非常ナル所ノ決心ヲ以テ此ノ難關ヲ突破セネバナラヌト云フ重大ナ時期デアリマス、我が

國ハマダ敗戦國デアツテ獨立國デヤナイ、其ノ氣分デ有ラユル對策ヲ講ジタナラバ以テノ外デアル、ドウカ總理ニ於キマシテモ、今申上ゲマシタル通り、或ハ適當ノ機會ニ於テ我が國ノ現狀ハ斯ウデアルト云フコトヲ國民ニ示シテ能ク自覺サセル必要ガアルノデハナイカト思フ、之ニ關スル今一遍ノ御答辯ヲ願ヒタイ、更ニ又産業ノ合理化、是ハ常ニ國務大臣モ仰シヤツテ居ル、産業ノ合理化ト云フコトニ付テハ勿論或程度ノ人員ノ整理ヲシナカツタラ出來ルモノデアリマセヌ、併シナガラ此ノ整理ニ對シテ先ヅ出來ルダケノ失業ガ出ナイヤウナ手段、方法ヲ講ズル、ソレト同時ニ此ノ失業對策ニ對スル所ノ政府ガ具體的ノ案ヲ示シタラ宜シイ、國鐵ノ爭議ノ如キモダ、鐵道ハシナイ、人員ノ整理モシナイ、何處デ産業ノ合理化ガ出來ルカ、結局國鐵ニ於キマシテハ、一體誰ガソレヲ負擔スルカ、言フ迄モナク我々國民大衆ガ其ノ赤字ヲ負擔スルコト云フ結果ニナルノデアリマス、若シ人員ガ剩ツタナラバ之ヲ如何ナル方法ニ依ツテ如何ナル方面ニ向ケルカト云フコトニ付テ先ヅ具體的ノ案ヲ定ムベキモノデアルト思フノデアリマスガ、私ハ總理大臣ニ對シテ只今一度御答辯ヲ願ヒタイ、國務大臣ニ對シマシテハ事大藏大臣ニ關スル問題デアリマスルカラ、適當ノ機會ニ讓ルコトニ致シマシテ、此ノ質問ヲ打切りマス(拍手)

〔國務大臣吉田茂君登壇〕

○國務大臣(吉田茂君) 御答ヘ致シマス、先程私ガ御答ヘ致シタルハ、率直ニ申セト云フコトデアルカラ率直ニ申シタルデアリマス、日本ノ今日ト致シマシテハ、「ロシヤ」ト聯合國トノ間ノ交渉ノ狀態ガドウデアルカト云フコトハ、「ニワシントン」ニ於ケル狀況ヲ知ル以外ニ方法ハナイノデアリマス、又聯合國トシテ或ハ日本理事會ニ於ケル發表ノ審議ニ付テモ其ノ成行キ等ニ付テハ新聞以外ニ承知スル方法、手段ハナイノデアリマス、デ發表ガ、聯合國、或ハ「ソヴィエト」ノ言ヒ分ノ喧嘩ヒハ確カニアリマスガ、如何ニシテ喰違ツテ居ルカ、孰レガ是デアルカ、非デアルカト云フコトヲ確カムル方法モ今日ハナイノデアリマス、併シナガラ聯合國ガ日本ノ在留同胞ノ救護ニ對シテ非常ニ同情アル態度ヲ以テ「ロシヤ」ニモ對シテ居ルト云フコトハ先程申シマシタル通りハ最モ顯著ナル事實デアリマス、又「ソヴィエト」ガ之ニ對シテ如何ナル應答ヲシタカト云フコトハ、是ハ知ル由モナイノデアリマス、是ガ現狀デアリマス

○議長(公爵徳川家正君) 日程第一、食糧緊急措置令、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議、委員長報告、委員長黒田伯爵

食糧緊急措置令 右承諾スヘキモノナリト議決セリ依

テ及報告候也

昭和二十一年九月十二日

委員長 伯爵黒田 清

貴族院議長公爵徳川家正殿

〔伯爵黒田清君登壇〕

○伯爵黒田清君 只今議題トナリマシタ食糧緊急措置令ニ關シマスル特別委員會ノ經過並ニ其ノ結果ヲ御報告申上デマス、同委員會ハ去ル九月五日及ビ九月十二日迄數日間慎重審議ノ結果全委員異議ナク之ヲ承諾スベキモノト決定シタ次第デアリマス、本措置令ニ關シマスル農林大臣ノ御説明ハ、既ニ本會議ニ於テ爲サレマシタノデ茲ニハ省略ヲ申上デマス、此ノ委員會ニ於キマスル質疑應答ノ中是ヨリ主ナルモノヲ申上デマスガ、此ノ措置令ハ先ヅ主要食糧ニ關シマスル強權發動ノ問題、次ニ生鮮食料品ノ再統制ノ問題、第三ニ主要食糧ノ配給上ノ不正防止、供出阻害行為ノ取締等ノ三ツノコトヲ内容ト致シテ居ルデアリマス、第一ノ主要食糧ノ強權發動ニ關シマシテハ種種ノ御質問モアツタノデゴザイマシガ、大體次ノ諸點ニ歸スル所存ズルデアリマス、ソレハ米及ビ芋類ノ生産高ニ政府ハモット正確ニ測定ガ出來ナイモノデアラウカ、生産高ノ算出ハ何ト言ツテモ供出割當ヲ決定スル基礎トナルノデアルト云フコトヲ初メト致シマシテ、新米ノ未端割當ノ時期如何、昨年度ノ供出未完了ノ分ハドウスルノデアラカ、又本年度ニ於ケル惡徳農家ニ

對シテハ如何ナル方策ヲ執ルカ、本年度農家保有量ヲ引去ツタ殘リノ全部ハ供出サセル積リデアアルノカドウカ、供出後ノ殘ツタ米或ハ芋ニ付テハ自由販賣ヲサセル意思ハナイカ、綜合供出ニ付テ難穀類ノ割當ノ比率ガ今日迄苛酷ニ過ギハシナカッタカ、供出報奨物資ノ配給ヲ一元化スル必要ハナイカ等ノ點ニ付テ御質問ガアツタノデゴザイマシガ、之ニ關シマスル政府ノ御答ハ、生産量ノ測定ハナカク困難ノモノデアツテ、統制ヲシテ居ルトドウシテモ控ヘ目ニ報告シテ來ルノデアアル、ソレデ農林省トシテモ常ニ正確ナ數字ヲ得タイト苦心ハシテ居ルノデアアル、現在農林省デヤツテ居ル測定ハ各農事試驗場デヤツテ居ル豐凶考照試驗ト云フモノヲ基礎トシテ、更ニ氣象臺ノ協力ヲ得、又實地見分ニ依リ測定ヲシテ居ルノデアアル、處ガ何分ニモ地方地方ヨリノ報告ハ利害關係トカ政策トカ、主觀的ノ要素ガ入ルノデドウモ正確ナ數字ガ得ラレナイ、今後ハ何カ特殊ナ機關デモ作ツテ純客觀的ノ立場ヨリ測定ヲスル必要ガアルノデハナイカト思ツテ居ルトノコトデアリマシタ、尙今日迄ノ政府發表ノ數字ハ八月一日現在ノモノデアツテ、勿論其ノ後天候ノ順調デアツタト云フコト等ハ其ノ當時ハ豫想シテ居ナカッタノデアリマシタルカラ、其ノ後ノ數字ハ増加シテ居ルコトハ當然デアリ、又地方ニ於テハ新聞等輿論ニ依ツテ農家モ相當非難ヲサ

レテ居ル所モアリ、從ツテ其ノ報告モ其ノ後當然訂正サレテ來ルモノト思ツテ居ルトノコトデアリマシタ、供出割當ノコトニ關シマシテハ、本年ハ成ルベク早ク決定シタイと思フ、サウシテ一般供出割當ヲ待タズ早場米ノ割當ヲ決メタノデアアル、九月中ニハ大體ノ割當ヲ決定スル積リデアアル、又供出割當ノ方法ニ付テハ從來ノ供出割當ノ基礎數字、一人當リ三合一勺五才ト云フモノヲ本年ハ一人當リ米、麥、芋ヲ含シテ四合ヲ保持スルト云フコトトシ、又供出シタ翌日ニ直チニ還元配給ヲ受ケナケレバナラナイヤウナ農家ニ對シテハ、本年ハ供出割當ヲシナイト云フヤウナ農家保有量ノ點ニ於テ、又其ノ他ノ點ニ付テ相當ノ改善ヲシテ居ルノデアルトノコトデアリマシタ、昨年度ノ供出未完了ノ者ハドウスルカト云フ點ニ付キマシテハ、大體合理的ニ割當テタモノノ殘米ハ麥、馬鈴薯等ニ對シテ第一段ノ方法ヲ執ツタガ、大體是デ「カバ」ガ出來ルト思フ、尙不十分ノ時ハ第二段ノ方法ヲ執ル積リデアアル、昨年ノ米ト本年ノ馬鈴薯、及ビ麥ハ綜合供出ト云フヤウナ意味合ニナルノデアアル、市町村食糧調整委員會ニ總撥ヒヲシテ貰ツテ、ソレニ依リ後ノ馬鈴薯及ビ麥ノ供出割當ヲ決メテ行ク、馬鈴薯、麥ニ付テハ供出割當ノ殘リノモノニ於テノ締括リハ、今回ノ米、甘藷ノ供出ニ際シ其ノ殘リヲ保有量トシテ中ニ計算シテヤツテ行ク積リデアアル

トノコトデアリマシタ、尙本年モ未ダ統制ノ必要ヲ認メテ居ル以上ハ強權發動ト云フコトハ停止スルコトハ出來ナイ、但シ此ノコトハ傳家ノ寶刀トシテ此ノ運用ニ付テハ十分慎重ニスル積リデアアル、本年ハ腐リ易イ芋類ニ對シテハ考ヘテ居ナイガ、麥等ニ付テハ考ヘテ居ルトノコトデアリマシタ、又本年度ハ農家保有量ヲ引去ツタ殘リ全部ヲ供出サセルカト云フコトニ關シマシテハ、平年生産基準量ヲ基礎トシテ、此ノ基準量以上出來タ物ハ割當以上ノ供出ニナルノデアアルカラ、割當以上ノ米ハ報奨金制度トシテ出シタイと思フ、サウシテ割當以上ノ供出ハ出來ルダケ正常ノ「ルート」ニ乗セタイと思フコトデアリマシタ、此ノ委員會ニ於キマシテ最モ論議セラレマシタルコトハ、供出後殘ツタ米、或ハ芋ヲ自由販賣サセルカドウカト云フ點デアツタノデアリマスガ、之ニ關シマシテハ政府ハ斷然自由販賣制度ハ許サナイ方針デアアル堅イ信念ヲ披瀝サレタノデアリマス、今年ハ幸ヒ豐作ヲ豫想サレテハ居リマスルガ、未ダ食糧問題ノ見透シハ附イタノデハナク、今ハ最も肝要ナ時デアアルノデ、生産者モ消費者モ心ニ緩ミガ出テハナラヌ時デアアルノデ、政府トシテハ其ノ點慎重ニ考ヘテ居ル、併シ殘米等ニ對シテハ出來ルダケ統制ノ枠ノ中ニ入レテ、正常ノ「ルート」ニ乗セルベク萬全ノ策ヲ講ジタイと思ツテ居ルトノコトデアリマシタ

タ、綜合供出ニ付テ難穀類ノ割當ノ比率ガ今日迄苛酷ニ過ギハシナカッタカト云フ御質問ニ付キマシテハ、此ノ難穀ノ代替率ニ付テハ日本農業研究所ニ於テ研究ヲシタノデアアルガ、尙再檢討ノ餘地ハアラウ、ソレハ「カロリー」ノ點及ビ價格ノ點ニ於テ考慮シナケレバナラヌ點ガアルシ、本年度ハ今迄ト違ツタ行キ方ヲスルモノデアルトノコトデアリマシタ、供出報奨物資配給ヲ一元化スル必要ハアリハシナイカトノ御尋ニ對シマシテハ、現在未端デハ市町村ノ農業會ニ於テ其ノ配給ハ一元化ニヤツテ居ルノデアアル、唯問題ハ農村ニドノ位ノ物資ガイツ來タカト云フコトヲ一日モ早く一般ニ成ルベク知ラセルコトガ必要ナノデアルト云フコトデアリマシタ、次ニ生鮮食料品ノ統制ノ問題ニ關シマシテ御質問ト致シマシテハ、生鮮食料品ノ出荷増加ノ點ニ付テ、及ビ沿岸、湖面ニ於ケル漁獲物ニ對スル御質問ガアツタノデゴザイマスガ、之ニ付キマシテハ政府ハ今日迄ハ農業會デ出荷計畫ヲシテ來タノデアアルガ、本年ハ其ノ下ニ出荷組合ノ如キモノヲ作り、荷受ノ方デハ統制會社ノミニ委セズシテ、農業會ガ直賣所ノヤウナ機關ヲ持ツ方法ヲ考ヘテ居ルノデアアル、又水産物ニ對シテハ油ノ「リンク」制ヲ十分活用シテ出荷ノ増加ヲ圖リタイと思ツテ居ル、唯漁村ニ對スル加配米ハ農村トノ關係上多少困難ナ點モアルガ、出來ルダケノ考慮ハシ

テ居ルトノコトデアリマシタ、生鮮食料品ハ何ト申シテモ其ノ對象ガ生キ物デアリマスノデ統制モナカ、困難デハアル、併シ海上ノ闇賣買等ニ關シテハ監視船ヲ以テ十分監視ヲシテ行キタイト思フ、種々ノ方法ヲ以テ統制ノ案レヌヤウニシテ行キタイト云フコトデアツタノデゴザイマシタ、次ニ供出妨害行爲取締問題ニ關シマシテノ御質問ノ中ニ、反供出ノ煽動ナドハドウ見ルカト云フ御質問ガアツタノデアリマスガ、之ニ對シマシテハ、單ニ意見ノ開陳ハドウモ致シ方ナイデアラウ、併シ行爲ニ現レタ者ハ困ルト云フ御答デアリマシタ、以上ノ外一般食糧ニ關シマシテハ、澱粉工場設置ニ關スル許可ノ問題、澱粉工場ニ對スル半ノ割當ノ量ノ問題、將來日本ノ食糧政策トシテ玉蜀黍ノ増產獎勵ヲシテハドウカ、將來日本人ノ食生活ヲ如何ニ考フベキデアルカ、食糧増產ト云ツテモ、量ノミデナク質ノ問題ガ重要デハナイカ、今回ノ粉中毒ノ問題ヨリ粉検査所ヲ設ケル意思ハナイカ、勞務加配米ヲ増加スル意思ハナイカ、日本ノ將來ノ食糧計畫如何等ノ御質問ガアツタノデアリマス、又一般農村問題ト致シマシテハ、蠶絲業ヲ獎勵スル必要上、桑園ノ復舊計畫ノ必要、農村ニ對スル所得稅ニ付テ尙考慮スル餘地ハナイカ、農村今後ノ經濟的、文化的向上ヲ圖ル方策如何等ノ意義アル御質問ガ多々アツタノデゴザイマス、總テ適切ナル御質問デア

リマシテ、是等ノ諸點ニ關シマシテ委員各位及ビ政府側トノ間ニ熱心ナル應答ガ取交サレタノデアリマス、其ノ詳細ハ何卒速記録ヲ以テ御承知置キ願ヒタイト存ジマス、唯政府ノ御答ノ中二三ヲ申上ゲマスレバ、粉中毒ノ問題ハ現在尙研究中デアルガ、マダハツキリシタコトガ分ツテ居ラナイ、「メチールアルコール」ニ關スルヤウナ粉ニ關スル検査所ハ現在ハ無いノデアル、今後ハ未利用資源ノ混入ト云フ必要モ段段無クナツテ來ルカラ、斯カル心配ハナイト思フト云フ御答ヘデアリマシタ、勞務加配米ニ付テハ、本年ハ前年度ヨリ約二百五十萬「トン」程其ノ量ヲ増加スル積リデアル、又日本將來ノ食糧計畫ニ付テハ實ハ政府ハ昨年暮カラ研究立案ヲシテ居ルノデアルガ、如何セム種ノ條件ガマダ整ハナイノデ、責任ヲ以テ其ノ發表ヲスルコトガ出來ナイノデアル、併シ其ノ計畫ノ一端ヲ言フナラバ、開拓百五十萬町歩ヲ完了スル、十萬町歩ノ干拓ヲスル、肥料二百萬「トン」ノ完了、燐鑛石モ所要量ガ確保シ得ルヤウニシタイ、サウシタ條件ガ整ヒマシテ五年先ニハ水田七千二百萬町歩、麥ノ收穫二千九百萬石程度ノモノニシタイ、サウ云フ計畫ヲシテ居ルノデアルガ、未ダ其ノ計畫ヲ責任ヲ以テ發表スル時デハナイト思フト云フコトデアリマシタ、斯クシテ質疑應答ヲ終リ討論ニ入リマシタガ、一委員ヨリ、今年ハ

豐作デハアルガ、尙主食ノ絶對量ハ國民
平常ノ榮養保持上不足デアルカラ、食
糧ノ統制ハ必要デハアルガ、強權發動
ノ點ニ付テハ末端關係者ニハ實ニ重大
ナル影響ガアルノデアル、又生鮮食料
品ノ統制ニ付テモ出來得ル限り實情ニ
即スルヤウ十分注意セラレタキ旨ヲ申
サレテ、本措置令ニ承諾ヲ與フルコト
ニ贊成ノ意ヲ表サレタノデゴザイマ
ス、斯クシテ討論ヲ終リ採決ニ入りマ
シタ處、全委員異議ナク本措置令ヲ承
諾ヲ與フベキモノト決定致シマシタ次
第デアリマス、之ヲ以テ御報告ヲ終リ
マス

○議長(公爵徳川家正君) 別ニ御發言
モナケレバ是ヨリ探決ヲ致シマス、本
件ニ對シ承諾ヲ與フルコトニ御異議ゴ
ザイマセスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長（公爵徳川家正君）御異議ナ
ト認メマス

○議長(公爵徳川家正君) 日程第二、
法人に對する政府の財政援助の制限に
關する法律案、政府提出、衆議院送
付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員
長周布男爵

法人に對する政府の財政援助の制限に關する法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依
テ及報告候也

昭和二十二年九月十三日

委員長 男爵周布 兼道
貴族院議長公爵德川家正殿

〔男爵周布兼道君登壇〕

○男爵周布兼道君 本法案ハ恩給法の一部を改正する法律案特別委員會ニ併託サレマシタモノデゴザイマス、委員會ハ二回はガ爲ニ開カレマシタ、其ノ御報告ヲ簡單ニ申上ゲマス、此ノ法人に對する政府の財政援助の制限に關する法律案ハ、法文ト致シマシテハ極メテ簡單デゴザイマス、會社其ノ他ノ法人ハ利益又ハ剩餘金ノ配當又ハ分配ヲシナケレバナラナイ、其ノ次ハ政府ハ補給金ハ之ヲ交付ヲシナイ、其ノ次ニ政府又ハ地方公共團體ハ會社其ノ他ノ法人ノ債務ニ付テハ保證契約ヲスルコトガ出來ナイ、此ノ三條デゴザイマシテ、尙附則ガゴザイマス、是ダケデゴザイマス、先日此ノ壇上デ御説明ガ政府カラゴザイマシタガ、少シク其ノ要領ヲ申上ゲタイト思ヒマス、本法案ハ、從來政府ハ特殊會社ニ對シテハ、政府ノ出資ニ對シテハ特殊ノ條件ニ依ル利益又ハ剩餘金ノ配當ハ分配ヲ認メ、或ハ一定ノ利益ヲ可能ナラシムル爲配當補給金ヲ交付シ、或ハ社債ニ對シテハ政府ガ其ノ元利金ノ支拂ヲ保證スル等各種ノ積極的財政援助ヲ講ジテ、其ノ經營收支ニ對スル援助、或ハ資本ノ獲得ニ對スル保護ヲシテ來タノノ債務ヲ招ク譯デアリマシテ、而モ是等ノ債務ハ性質上、多クハ其ノ負擔額

モ極メテ不明確ナ實情ニアリマスノデ、國家財政ノ現狀ニ顧ミマシテ、是等ハ速カニ制限ヲシテ、今後債務ノ累増スルヲ防グコトガ戰時財政再建ノ爲ニ緊急ノ方途デアリ、又一面ニハ財政援助ノ措置ハ企業ノ活動ヲ公ノ保護ニ依存シマシテ、自主的活動ヲ弱メルノデ、今回ノ如キ措置ヲ講スルコトトシタノデアリマス、尙聯合國最高司令部ヨリノ要求モ來テ居リマスノデ、此ノ點カラモ廢止又ハ制限ヲスル必要ガアルトノコトデゴザイマス、今質疑ノ中二三ヲ申上ゲマスレバ、先ヅ社債等デ政府ガ補償シテ居ルモノ、又配當補給等ノ質問ニ對シマシテ、政府ノ答ノ大略ヲ申上ゲマスレバ、社債ノ方ハ最近其ノ總額百九十八億五千四百萬圓デ、中最モ大ナルモノ日本興業銀行ノ興業債券、其ノ次ハ戰時金融金庫、又其次ハ北支那開發株式會社ノ北支開發債券、又產業設備營團ノ發行シテ居リマス產業設備債券、次ハ日本發送電株式會社ノ社債、是等ハ皆十億ヲ越スモノデゴザイマス、配當補給ノ方ハ二十年度ニ一應豫定シテ實行ハシマセヌデシタガ、全部デ八千二百十七萬圓デゴザイマス、北支那開發株式會社、ソレカラ帝國鑛業開發株式會社、日本發送電配當補給、帝國燃料興業株式會社等ガ主ナモノデゴザイマス、第二ノ質問トシテ御紹介申上ゲマスガ、次ニ此ノ法案ノ提出ノ理由申ノ聯合國最高司令部ノ要求ト云フノハ、會社ナリ法人ナ

リヲ個々ニ指摘シテ來テ居ルモノデアルカドウカト云フコトニ對シマシテ、其ノ答ハ司令部ヨリ「メモランダム」ハ特定シテ申シ來ツテ居ル所デハナク、一般の方針トシテ來テ居ルノデ、昭和二十一年四月三日附ニテ帝國政府及ビ地方團體ハ、今後會社其ノ他ノ法人債務ニシテ、其ノ法人ノ如何ヲ問ハズ債務補償ヲナスコトヲ得ズ、又配當ノ補給ニ付テハ、會社其ノ他ノ法人ノ配當支拂ヲ可能ナラシムル目的ノ爲ニ補償ヲナスコトヲ得ズト、原則的ニ申シテ來テ居リマシテ、之ニ依リ案ヲ作リマシテ先方ト話合ヒ致シテ、内容ガ決ツタノデアルト云フコトデゴザイマス、第三ニ申上ゲマスノハ、事業及ビ目的ノ如何ニ依ツテハ例外トスルコトモ出來得ルヤウニ思ハル、ガ、其ノ如何ニ拘ラズ補助、補給ハ打切ルコトニスルノデアルカト云フ間ニ對シマシテ「メモランダム」中ニ特ニ聯合國最高司令官部ノ許可ヲ得テ指定セラルベキ金融機關ノ細部ニ付テハ此ノ限リニ非ズト云フ但書ガ附イテ居リマス、此ノ趣旨ハ非常ニ限定的デアリマシテ、全然債務補償ヲシナイト云フコトニナリマス、政府ガ今後色々ナ財政的問題ノ取扱上、非常ニ窮況ニ立ツヤウナ場合モ想像サレマスシ、又議會ヲ審議中ノ復興金融機關モ考ヘラレマスノデ、限定的ノモノデアルガ、但書ヲ附ケテ、場合ニ依リマシテハ考ヘテ行カナレバナラナイト云フコトデアリマス、其ノ

次ハ今後國ノ活動ニ付キマシテ、公共財產ヲ利用シテ行カウト云フ場合ニハ、一々最高司令部ノ了解ヲ得ナケレバ、法律上ノ實行ハ出來ナクナル、斯カル點ハドウデアアルカト云フ間ニ對シマシテ「メモランダム」ガ來テ居ツテ、國有財產ヲ色々處分スル場合ニハ、原則トシテ先方ノ了解ヲ得ナケレバ出來ナイコトニナツテ居ルトノコトデアリマシタ、尙種々ノ質疑應答ガゴザイマシタガ、是ハ速記録ニ讓ルコトニ致シマシテ、茲ニハ省略ヲ致シマス、倍、討論ニ入りマシタガ、別ニ御發言ハナク、採決ノ結果全員一致原案通り可決致スベキモノト相成リマシタ、此ノ段御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家正君) 別ニ御發言モナケレバ本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家正君) 御異議ナシト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(公爵徳川家正君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家正君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵徳川家正君) 本案ノ第二讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ノ問題ニ供シマス、本案全部委員長ノ報告通りデ、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家正君) 御異議ナシト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(公爵徳川家正君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家正君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵徳川家正君) 本案ノ第三讀會ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決議通りデ、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家正君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵徳川家正君) 日程第三ヨリ第五迄ノ請願、會議

意見書案

北海道枝幸郡入洞修築ノ件

北海道枝幸郡枝幸村長平田常太郎呈出

右ノ請願ハ北海道枝幸郡入洞ハ獨リ北部北海道ノ漁業基地タルノミナラ

ス近時樺太、千島等ヨリ根據ヲ移サントスル者漸ク増加スルニ至リ現在ノ船入洞ニテハ到底十分ナル成果ヲ擧ゲ得ラレサルニ依リ大型漁船ノ出入シ得ルヤウ速ニ漁港トシテノ修築ヲ施シ以テ終戦ニ因リ喪失セル樺太、千島ノ漁業根據地ニ代替セシメ水産食糧ノ増産ニ積極的ニ寄與セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家正

内閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

茨城縣潮來町干拓事業地域内耕地ノ補償金裁定方ニ關スル件

茨城縣行方郡潮來町大洲四百五十六番地農業石津國平呈出

右ノ請願ハ茨城縣行方郡潮來町津知村延方村地先内退還浦ノ干拓事業ニ關シ之カ施工者タル農地開發營團ヨリ交付セラレタル請願人等ノ私有地ニ對スル補償額ハ頗ル少額ニシテ時價ニ即セサルモノナルニ依リ政府ハ同營團ヲシテ之カ裁定方ヲ是正セシムルヤウ取計ラハレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家正

内閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

漆器ノ品質審議機關設置ノ件

東京都下谷區上野公園東京美術學校内官吏松田權六外二名呈出

右ノ請願ハ日本ノ漆器ハ古來世界の名聲ヲ博セルニ拘ラス業者ノ粗製濫造ト販路ノ競争ニ因リ遂ニ外客ノ信用ヲ失墜セルハ洵ニ遺憾ナルニ依リ速ニ請願書記載ノ如キ審議機關ヲ設置シ以テ我國貿易事業ノ進展ニ寄與セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家正

内閣總理大臣吉田茂殿

○議長(公爵徳川家正君) 是等三件ノ請願ハ、請願委員長報告通り、採擇スルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家正君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵徳川家正君) 日程第六、議會圖書館設置ニ關スル請願、會議

意見書案

議會圖書館設置ニ關スル件

東京都杉並區馬橋二丁目九番地
官吏大内兵衛外三名呈出

右ノ請願ハ我國ニ於ケル政策ノ非科
學性ハ政治上ノ一太缺陷ニシテ其ノ
因由スルコロ周到綿密ナル調査研究
ノ施設乏シキニ在ルハ萬人ノ齊シク
認ムル所ナルニ依リ政府ハ之方缺陷ヲ
充足スヘキ喫緊ノ措置トシテ速ニアメ
リカ合衆國ノライブラリー・オブ・ユ
ングレスヲ範トシ且請願書記載ノ要
項ニ基テ議會圖書館ヲ設立シ以テ國
策樹立ノ上ニ貢獻スルト共ニ方ニ文
化國家トシテ再出發ノ途上ニアル我
國文運確立ノ要請ニ應ヘラレタシト
ノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ
採擇スヘキモノト議決致候因テ議院
法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
昭和二十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家正
内閣總理大臣吉田茂殿

○議長(公爵德川家正君) 本請願ニ付
テハ討論ノ通告ガゴザイマス、姉崎正
治君

〔姉崎正治君登壇〕

○姉崎正治君 只今ノ議會圖書館設立
ニ關スル請願ハ、私が紹介ヲ致シ、又
其ノ趣意ニ賛成デアリマスノデ、且又
ソレニ附加ヘテ少シ申上ゲタイコトモ
アリマスルカラ、賛成ノ意味ト同時ニ
附加ヘテ少シ御清聴ヲ煩シマス、今迄
我が國ニ於テ圖書館ト云フモノハ大分
出来マシタガ、如何ニシテモ貧弱ナモ

ノデゴザイマス、例ヘバ「アメリカ」デ
アレバ、一ツノ學校ヲ設立スル場合
ニ、其ノ敷地ノ割當ニ、先づ第一ニ中
央ニ近イ所ニ圖書館ノ設備ヲ設クトモ
豫定シテ掛リマスルガ、我が國ニ於テ
ハ學校設立ト言ヘバ、敷地、サウシテ
次ニ教室ヲ建テル、サウシテ段々シ
テ、後ニ圖書館ト云フコトニヤット氣
ガ附ク、其ノ結果圖書館ト云フモノ
ハ、何處ノ學校ニ行ツテモ多クハ片隅
ニ押込メラレテ居リマス、申ス迄モナ
ク一ツノ學校或ハ町デ圖書館ト云フモ
ノハ、其處ノ智力的、又感情的、其ノ
他ヲ與ヘル爲メ、謂ハバ血液ヲ與ヘル
心臟デゴザイマス、其ノ心臟ガ體ノ中
央ニアツテコソ心臟ノ働キヲシマスル
ガ、日本ノ多クノ學校ニ於ケルガ如
ク、片隅ニ而モ貧弱ナモノヲ置イテ
ハ、心臟ガ働カナイノハ勿論ダト思ヒ
マス、是一ツデモ我が國ニ於テ圖書館
ト云フモノガ如何ニ理解セラレナイデ
居ルカト云フコトヲ見得ルト思ヒマス
ルガ、我が國ニハ唯一ツノ國立圖書
館、即チ帝國圖書館ガゴザイマスル
ガ、此ノ圖書館一ツニシテモ明治二十
九年貴族院デ放外山先生ガ建議ヲサレ
テ、熱心ナ運動ヲヤラレテヤット設立
スルヤウニナリマシタ、前ノヲ繼續シ
テ、帝國圖書館トスルヤウニナリマシ
タ、其ノ結果現在アリマスル建物ガ出
來マシタ、アレハ大キナ四角ノ建物ヲ
作ル一角ダケヲヤット作ツタノデゴザ
イマス、ソレカラ以後今日迄五十年以

上ノ間、増築ト云フコトハ唯一度ヤツ
タダケデアリマス、何萬圓デアツタ
カ、少額デアリマシタ、ソレモ閱覽室
ト事務室ヲ増築シタダケデアリマス、
サウシテ現在所蔵シテ居ル書物ハ隨分
アツテ、貴重ナモノモアリマスガ、利
用ノ狀態ヲ申サバ、主トシテ受験學
生、謂ハバ一般ノ讀者ガヤル、ソコデ
其處ニ入ル爲メハ列ヲ作ツテ入場券ヲ
買フト云フヤウナ狀態デ、研究者ガソ
レヲ利用スルト云フコトハ實ニムツカ
シイヤウナ狀態デゴザイマス、斯ウ云
フ工合ニ我が國デハ、學校ニシテモ町
ニシテモ、如何ニモ圖書館ヲ虐待シテ
居リマス、是バ我が國ノ文化ノ爲メ實
ニ遺憾極リナイコト存ジマス、勿論
今日デハ多少市立或ハ縣立ノモ出來マ
シタケレドモ、多クハマダ貧弱ナモノ
デアリマス、現在ノ此ノ議會圖書館ノ
請願ト云フコトハ、範ヲ「アメリカ」ニ
取ツテ居リマス、即チ議會圖書館ト
ノ關係ヲ密接ニスル、否議會ノ爲メ圖書
館ヲ設ケルト云フ案デアリマス、是
ハ「アメリカ」ノコトヲ一々申上ゲル必
要ハアリマセヌガ、御存ジノ通り「ア
メリカ」デハ議會ガ立法ノ本ニナツテ
居ル、議員ガ立案ヲスルコトガ本ニナ
ツテ居リマス、ソレ故ニ議員ガ何カノ
案ヲ立テヨウト云フ場合ニハ、先ツ圖
書館ヲ使ツテ、其所デソレヲ調べ見
ル、一ツノ法案ヲ作ル爲メ、ソレノ材
料ナリ、或ハ前例ナリヲ調べル爲メ圖書
館、或ハサウ云フ種類ノモノガ州ノ

議會ニモ何處ニモアルノデアリマス、
ソレハ或所デハ「レジスレーション・レ
ファレンス・ビューロー」ト云ツテ居リ
マス、現在ノ所謂議會圖書館、「アメ
リカ」ノ「コングレス・ライブラリー」ハ
サウ云フコトヲ本ニハシテ居リマスル
ガ、ソレカラ發達シテ今日ハ立派ニ唯
一ノ國立圖書館デアリマス、國立ノ
第一ノ圖書館デアリマス、サウシテ
國立ト云フ位地カラ進ンデ、或
意味デ申サバ全世界ノ中樞圖書
館トナツテ居ルト言ツテモ宜イ
狀態デアルノデアリマス、ソレデ現在
ノ此ノ請願ハ、議會ノ爲メ圖書館ト云
フコトデ、サウシテソレニハ今申シタ
ヤウナ議員ノ用途、又特別ノ研究ヲス
ル爲メ必要ナ設備ヲ整ヘテ欲シイト云
フ請願デアリマスルガ、ソレヲシマス
ルニハドウシテモ圖書館其ノモノヲ餘
程完全ニシナケレバナラス、現在モ此
ノ議會ニ、衆議院ニモ貴族院ニモ圖書
室ト云フモノハアリマスルガ、如何ナ
ルモノデアルト云フコトヲ御存ジノナ
イ方ガ或ハ議員ノ中ニモ御アリニナル
カモ知レナイ、兎ニ角今度ノ例ヘバ憲
法改正案ガ出、ソコデ憲法ニ付テ今迄
出テ居ル著書ヲ調べ見ヨウト思ツテ
其所ヘ行ツテ見ルガ、私ハマダ今度ハ
行ツテ見マセヌガ、果シテドレダケア
リマセウカ、其ノ他有ル管ノモノガ無
イコトモ往々ニシテアル、兎ニ角現在
ノ圖書室ト云フモノハ、實ニホンノ新
聞、雜誌ヲ主ニシタヤウナモノデ、今

申シタヤウナ立法ノ參考ニスル、材料
ニスルト云フヤウナコトハ到底出來ナ
イノデアリマス、今後議會ノ機能ガ益
益重要ニナルニ從ツテ、此ノ方面ガ重
要ニナルコトモ勿論デアリマス、然ラ
バ今日ニ於テ少クとも議會圖書館ヲ設
ケル必要ガアルト云フコトハ申ス迄モ
ナカラウカト思ヒマス、サウナレバ、
「アメリカ」ヲ例ニ探ツテ見マスレバ、
又「アメリカ」ノ例ハ私ハ世界デ一番良
イ例ト思ツテ居リマスガ、今後ノ發達
モ自ラ其ノ方ニ向ツテ行クニ違ヒナ
イ、サウスレバ現在ノ帝國圖書館或ハ
國立圖書館デアリマスルカ、ソレガ上
野ノ公園ノ片隅ノ不便ナ所ニアリマ
ス、位置モ不適當デアル、又現在ノ機
能モ不適當デアリマス、唯受驗者ノ讀
書室ト云フヤウナコトニ殆ドナツテ居
ル狀態デハ、帝國圖書館ト稱スルニ足
リナイ、然ラバ此ノ請願ニアリマスル
議會圖書館ヲ中樞ニシテ、サウシテ國
立圖書館ノ設備ヲ整ヘ、帝國圖書館其
ノ他ヲ併セテ、堂々タル圖書館ニシ
テ、唯單ニ議會ノ爲メデナク、國ノ爲メ
圖書館ト云フコトニスル必要ガアルト
信ジマス、茲デチヨット御參考ニ「ア
メリカ」ノ圖書館デ致シテ居リマスル
仕事ノ中デ直接圖書館デナイ方ノコト
ヲ少シ申上ゲタイ、是ガ又將來必ズ必
要ニナツテ來ルト思ヒマス、其ノ一ツ
ハ著作權ノ登錄デアリマス、今日我が
國デハ著作權ノ登錄ハ内務省ニ届ケ出
ルコトニナツテ居リマス、是ハ警保局

ガソツテ居リマス、是ハ元檢閱ノ必要
カラ來タモノデアル、其ノ規定ニ依レ
出版シタモノハ警保局ヘ二部出ス、
サウシテ其所デ著作權ヲ登録スル、其
ノ一部ハ内務省ニ留メ、一部ハ帝國圖
書館ニ贈ルト云フコトニナツテ居リマ
スガ、ソレガ濫濫シテ、帝國圖書館
ニ贈ラレナイ場合ガ可ナリ多クアルノ
デアリマス、又物ニ依ツテハ何處カヘ
飛ンデシマツタト云フヤウナコトモア
ルノデアリマス、兎ニ角現在迄ハ檢閱
ト云フコトノ必要カラ、内務省デ管轄
シテ居リマシタガ、今後はガドウナリ
マセウカ、私ハ今後我が國デハ矢張り
「アメリカ」ノ圖書館ノヤウニ、圖書ニ
關スルコトハ其ノ中樞ノ國立圖書館ガ
司ルト云フヤウニスルノガ至當デア
ルト思ヒマス、然ラバ著作權ノ登録ト云
フコトモ矢張り此所デスルノガ當リ前
ダト思フ、兎ニ角「アメリカ」ノ「コン
グレス・ライブラリー」デハ著作權ノ
登録ト云フコトヲ司ツテ居リマス、其
ノ次ハ聯合目錄、「ユニオン・カタロ
グ」ノ編成、作製並ニ發行、是ハ目錄
ノ問題ニナリマスガ、圖書館ノ目錄ト
云フト、大キナ本デ印刷シタモノヲ多
ク御聯想ニナルダラウト思ヒマスガ、
現在ノ如ク書物ガドシノ出ル狀態デ
ハ、サウ云フ目錄ヲヤツテ居ルノデ
ハ、目錄ノ用ヲ爲サナイノデアリマ
ス、「ビブリオテーク・ナショナル」デ
モ「ブリテイッシュ・ミューゼアム」デ
モ何十冊ト云フ目錄ヲ今迄出シテ居

マスガ、ソレガ「エフ・カ」ジ」ト云フ
所迄行クノニ、十何年モ二十年モ掛ツ
テ居リマス、ソレモ必要デアルガ、其
ノ前ニ所謂「カード」デ目錄ヲ作ツテ、
サウシテソレヲ唯其所ノ目錄デナク
テ、各圖書館ハ大學ノ聯合目錄トシテ
配ルノデアリマス、之ヲ「アメリカ」ノ
「コングレス・ライブラリー」デ營ンデ
居リマス、是ハ恐ラク我が國ニハ一ツ
ダケ來テ居リマス、之ニ依ツテドレダ
ケノ便宜ヲ得ルカ、今文部省デハ科學
文獻ノ調査ト云フコトヲ始メテ居ラ
レマス、其ノ爲ニ大分ノ金ヲ費ス豫定
ノヤウデアリマス、ソレヲスルニシテ
モ此ノ聯合目錄ガナカツタナラバ非常
ナ手數ニナルノデアリマス、「アメリ
カ」ノ「コングレス・ライブラリー」デハ
國內ノハ勿論、國外ノモ得タモノハ直
チ「カード」ニシテ、其ノ「カード」デ
各圖書館ニ配付シマスルカラ、「アメ
リカ」デハ大キナ圖書館ナラバ何所ヘ
行ツテモ、其ノ圖書館ニ存在シナイデ
モ「コングレス・ライブラリー」其ノ他
ノ何所カニ在ルト云フコトガ分ル、ソ
レヲ世界中ニ供給シテ居ルノデアリマ
スカラ、世界中ソレデ連絡ガ付ク譯デ
アリマス、之ヲ我が國デケデモドウシ
タツテシナケレバナラヌコトデアリマ
ス、此ノ聯合目錄ノ製作ト云フコト
ハ、世間ノ多クノ人ハマダ知ラナイコ
トカト思ヒマスガ、今後益々重要ニ
ナルト思ヒマス、モウ一ツハ各國ノ
圖書ノ交換デアリマス、是ガ又年々歲

歲數ヲ増シテ來テ居リマス、我が國デ
ハ現在在ハ帝國圖書館デヤツテ居リマ
スガ、併シ是デハ不十分デアリマス、
兎ニ角此ノ議會圖書館ト云フモノガ出
來ルナラバ、「アメリカ」ノ例ト同様
ニ、議會圖書館自ラガソレヲ司ルカ、
若シクハソレニ委任シタ所ガ之ヲ司
ル、「アメリカ」デハ「スミソニヤン・イ
ンステテュート」ガヤツテ居リマス
ガ、ソレヲシナケレバナラヌ、其ノ他
書物ヲ蓄ヘ、サウシテ研究者ニソレダ
ケノ便宜ヲ與ヘル、是ハ勿論ノコトデ
アリマス、サウ云フ種類ノ今後益々必
要ニナル事業ガアルニ拘ラズ、我が國
デハソレニ對スル設備ガ現在缺ケテ居
ルノミナラズ、將來ニ對スル設計モ見
込モマダ付イテ居ナイノデアリマス、
今日此ノ請願ガ出タ、今迄モ之ニ似タ
モノハ出テ居リマスルガ、ドウシタモ
ノカ繼子扱ヒト申シマセウカ、其ノ儘
ニサレテ居ル、私ハ甚ダ之ヲ遺憾ニ存
ジマスガ、殊ニ諸君ノ御熱慮ヲ煩シ、
又當局ニ於テモ其ノ點殊ニ御熱考ヲ願
ヒタイト云フ意味デ、此ノ贊成演說ヲ
致シマス（拍手）

○議長（公爵徳川家正君） 日程第七ヨ
リ日程第二十三迄ノ請願、會議
意見書案
工藝關係創作權ノ確立ト保護ニ關
スル件
東京都世田谷區世田谷三丁目二
千二百九十五番地冶金及印刷技
術者長谷川一外二十四名呈出
右ノ請願ハ美術工藝品ノ生産ハ現下
ノ急務ナルニ拘ラス其ノ創作、創案
等ニ對スル法的保護ヲ缺如セルカ爲
メ往々ニシテ作品ニ對スル權威ヲ冒
瀆シ延テハ作家ノ製作意欲減退ヲ招
來シ之カ進步發達ヲ阻碍スルモノア
ルハ洵ニ遺憾ナルニ依リ速ニ工藝創
作權ヲ制定シ以テ美術工藝ノ育成被
護ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族
院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト
議決致候因テ議院法第六十五條ニ依
リ別冊及送付候也
昭和二十一年 月 日
貴族院議長 公爵徳川 家正
内閣總理大臣吉田茂殿

意見書案
工藝關係行政機關ノ擴充強化ニ關
スル件
東京都世田谷區世田谷三丁目二
千二百九十五番地冶金及印刷技
術者長谷川一外二十四名呈出
右ノ請願ハ完全非武裝文化國家ノ建
設ヲ國策トスル現下ノ我國ニ於テ工藝
ノ劃期的振興ヲ圖ルハ産業ノ指向ヲ律

スヘキ急務ナルニ依リ政府ハ工藝關
係行政諸機關ヲ擴充強化シ藝術、科
學、生産ノ三位一體の結合 完カラシ
メ以テ民生ヲ豐ナラシムルト共ニ世
界ノ文運ニ貢獻セラレタシトノ旨趣
ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇ス
ヘキモノト議決致候因テ議院法第六
十五條ニ依リ別冊及送付候也
昭和二十一年 月 日
貴族院議長 公爵徳川 家正
内閣總理大臣吉田茂殿

意見書案
主要醫藥品等ノ二重價格制ニ依ル
國家管理制急務方ニ關スル件
千葉縣醫師會會長花岡和夫呈出
右ノ請願ハ終戰以來食糧ノ不足ト過
勞等ニ因リ國民體力ノ低下ト疾病ノ
増加著シク而モ醫藥品及衛生資材ノ
缺乏ハ所謂國取引ヲ派生シテ醫療費
ノ昂騰ヲ來シ國民保健上誠ニ憂慮ニ
堪ヘサルモノアルニ依リ主要ナル醫
藥品ノ生産及配給ハ之ヲ國家管理ト
シ且二重價格ヲ設ケテ末端使用時ノ
價格ヲ低廉ニシ以テ不幸ナル傷病者
ヲシテ安シシテ受療ノ恩惠ニ浴セシ
メラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ
願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決
致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別
冊及送付候也
昭和二十一年 月 日
貴族院議長 公爵徳川 家正
内閣總理大臣吉田茂君

意見書案

休止及廢止、單線化セル地方鐵道ノ復活ニ關スル件
東京都麹町區丸ノ内三丁目四番地社団法人日本鐵道會會長村上義一呈出

右ノ請願ハ戰時陸運非常體制確立ニ基キ戰後復舊ヲ條件トシテ回收セル地方鐵道、軌道ノ施設ハ最近ニ於ケル經濟事情ノ著シキ變化ノ爲メ會社ノ自力復活殆ト不可能ニ近キモノアルニ依リ政府ハ速ニ轉用資材ノ復元ト建設費補助ノ措置ヲ講シ以テ地方交通機關ノ恢復ヲ圖ラシトシテ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日
貴族院議長 公爵德川 家正
內閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

豫定線小郡、萩間鐵道速成ノ件
山口市長井上武男外一名呈出

右ノ請願ハ山陽線小郡、山陰線萩兩驛間ニ鐵道ヲ敷設スルハ本州西部ト日本海ヲ結フ捷徑トナリ陰陽兩地區ノ貨客輸送上資スル所大ナルノミナラス今後秋津港ト大陸トノ連絡及近ク實現ヲ見ントスル超特急ノ小郡方面停車ト相俟テ其ノ重要性ヲ加ヘ來レルニ拘ラス單ニ豫定線トシテ今日ニ追ヘルハ關係地方民ノ洵ニ遺憾トスル所ナルニ依リ速ニ之カ實現ヲ圖ラシタシト旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日
貴族院議長 公爵德川 家正
內閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

地方鐵道等ノ戰災復舊ニ要スル資材及資金ノ特別措置ニ關スル件
東京都麹町區丸ノ内三丁目四番地社団法人日本鐵道會會長村上義一呈出

右ノ請願ハ地方鐵道、軌道ノ蒙リタル戰禍ハ國有鐵道ヲ凌駕スルモノアルモ資材獲得ノ困難ナルト金融非常措置ニ基キ支拂制限ノ爲メ之カ復舊殆ト不能ニ近キモノヲ生スルニ至レルハ誠ニ遺憾ナルニ依リ政府ハ速ニ資材及金融ノ特別措置ヲ講シ以テ輸送

意見書案

力ノ增強ヲ圖ラシトシテ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日
貴族院議長 公爵德川 家正
內閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

富士山麓一週觀光道路新設ニ關スル件
靜岡縣駿東郡御殿場町長稻葉五三郎外二十九名呈出

右ノ請願ハ觀光立國ハ今後ノ日本ニ課セラレタル重要ノ問題ニシテ風光ノ國トシテ全土ヲ舉ケテ施設ノ對象ト爲スヘキモノナルモ現實ノ諸事情之ヲ許ササルニ依リ富士、箱根ヲ其ノ第一着手トシ速ニ富士山麓一週ノ觀光道路ヲ設ケ併セテ京濱地方ヨリ富士、箱根ニ連絡スル道路ヲ新設或ハ改修シ以テ外客ノ觀光ニ便スルト共ニ產業ノ興隆ニ寄與セラシメシト旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日
貴族院議長 公爵德川 家正
內閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

本會川上流改修並附帶工事速成ノ件
岐阜縣本巢郡北方町長大野勇外二十名呈出

右ノ請願ハ岐阜縣本會川並其ノ支流川ノ改修ハ尾邊勢三州ノ豐凶ニ至大ナル關係ヲ有スルニ拘ラス未之カ完成ヲ見ルニ至ラサル爲メ屢洪水ノ難ヲ蒙リ農作物ノ被害激甚ナルハ刻下ノ食糧事情ニ鑑ミ洵ニ遺憾ナルニ依リ速ニ國營ヲ以テ之カ改修ヲ實施シ耕

意見書案

候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日
貴族院議長 公爵德川 家正
內閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

農家ノ經濟安定ニ關スル件
岐阜縣本巢郡北方町長大野勇外二十名呈出

右ノ請願ハ現下諸物價ノ昂騰ト所謂閑値ノ横行ニ依リ農村ニ於ケル生活狀態ハ極メテ不安定ニシテ小作者ハ固ヨリ地主モ亦大ニ困却ヲ來セルニ依リ政府ハ速ニ之カ素因ヲ爲セル脫法行爲ノ取締等請願書記載ノ如キ各種ノ方途ヲ講シ以テ農家經濟ノ安定ヲ圖ラシトシ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日
貴族院議長 公爵德川 家正
內閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

岐阜縣本巢郡根尾村ニ高堰堤築設ノ件
岐阜縣本巢郡北方町長大野勇外二十名呈出

右ノ請願ハ岐阜縣本巢郡根尾川ヲ水源トスル山口用水ハ古來縣下最大ノ用水トシテ根尾、本巢兩郡ノ灌溉ニ寄與シ來レルモ戰時中背後山林ノ濫

意見書案

伐ニ因リ其ノ貯水力ヲ減耗シタルノミナラス水害ノ懸念ヲモ伴フニ至リ美濃米主産地タル同地方ノ憂慮少ナカラサルモノアルニ依リ政府ハ速ニ根尾村地内適當ノ位置ニ高堰堤ヲ築設シ以テ其ノ缺陷ヲ補ヒ旱害及水害ノ兩者ニ備フルト共ニ發電水力トシテノ利用ヲモ圖ラシトシ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日
貴族院議長 公爵德川 家正
內閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

北海道虻田郡眞狩地帶ニ省營自動車運輸開始ノ件
北海道虻田郡村長內山憲一外七名呈出

右ノ請願ハ北海道虻田郡眞狩地帶八箇町村內ノ未墾地六千餘町歩ノ開發ハ國內食糧事情ノ打開ニ寄與スル所大ナルモノアルモ其ノ成否ハ一ニ懸ツテ交通機關ノ整備ニ存スルニ依リ速ニ同地帶ニ省營自動車ノ運輸ヲ開始シ以テ開拓ノ達成ト民生ノ安定ニ貢獻セラシメシト旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日
貴族院議長 公爵德川 家正
內閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

北海道上流改修並附帶工事速成ノ件
本會川上流改修並附帶工事速成ノ件

右ノ請願ハ岐阜縣本會川並其ノ支流川ノ改修ハ尾邊勢三州ノ豐凶ニ至大ナル關係ヲ有スルニ拘ラス未之カ完成ヲ見ルニ至ラサル爲メ屢洪水ノ難ヲ蒙リ農作物ノ被害激甚ナルハ刻下ノ食糧事情ニ鑑ミ洵ニ遺憾ナルニ依リ速ニ國營ヲ以テ之カ改修ヲ實施シ耕

意見書案

候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

意見書案

奥羽本線福島、米澤ノ兩驛間電化
速成ノ件

米澤市長宇佐美辰五郎外十一名
呈出

右ノ請願ハ奥羽本線福島、米澤ノ兩
驛間ヲ結フ鐵道ハ奥羽山脈ノ峻嶒吾
妻山ヲ横斷スル爲メ勾配急ニシテ隧
道多ク運輸上多大ノ資材勞力ヲ消耗
シ其ノ機能ヲ發揮シ得サルノミナラ
ス隧道、雪覆内ノ煤煙ト熱氣ハ從業
員ヲレテ壓室息狀態ニ陥ラシメ旅客
ノ不安亦甚シキモノアルニ依リ速ニ
同區間ノ電化ヲ實現シ以テ地方ノ運
輸交通ニ資スルト共ニ文化並産業ノ
開發促進ニ寄與セラレタシトノ旨趣
ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇ス
ヘキモノト議決致候因テ議院法第六
十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家正
内閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

舊鶴見臨港鐵道線外三鐵道線拂下
ニ關スル件

東京都麹町區丸ノ内二丁目二番
地鶴見臨港鐵道株式會社代表取
締役社長山田伸外三名呈出
横濱市鶴見區鶴見町三十八番地
社團法人京濱工業協會會長清水
與七郎外三十名呈出

意見書案

右ノ請願ハ舊鶴見臨港鐵道、南武鐵
道、青梅電氣鐵道及奥多摩電氣鐵道
ハ戰時輸送力強化ノ爲緊急措置トシ
テ政府ニ買收セラレタルモノ元來之等
四鐵道ハ一地方ノ交通ノ爲ニ發達シ
タルモノニシテ戰時終結ニ伴ヒ國營
ノ必要性ヲ失ヒシノミナラス沿線住
民ノ民營復歸ノ要望亦切ナルニ依リ
速ニ前經營者ニ拂下ケ以テ沿線地方
ノ交通ト産業ノ開發ニ寄與セラレタ
シトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大
體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ
議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付
候也

昭和二十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家正
内閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

未成線鐵道佐久間線速成ノ件
靜岡縣濱松市長藤岡兵一外三名
呈出

右ノ請願ハ未成線鐵道佐久間線ノ速
成ハ沿線地方ニ於ケル豐富ナル林、
鑛產等ノ資源ノ開發上緊要ナルノミ
ナラス中央線長野野驛ヨリ東海道線豐
橋驛ニ至ル諸地方鐵道ノ國營移管ト
相俟ツテ運輸交通並戰後ノ國力回復
ニ貢獻スル所大ナルニ依リ既定計畫
ニ基キ速ニ著工完成ヲ圖ラレタシト
ノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ
採擇スヘキモノト議決致候因テ議院
法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

意見書案

福島縣小名濱港修築ニ關スル件
福島縣石城郡小名濱町長志賀要
平呈出

右ノ請願ハ福島縣小名濱港ニ對シテ
ハ北海道、京濱兩地方ノ中繼港トシ
テ第一二期修築工事ヲ施シタルモ
防波並防砂ノ施設完カラサル爲本來
ノ使命ヲ達シ得サルハ洵ニ遺憾ナル
ニ依リ當初ノ計畫ニ基キ港灣ノ修
築、船溜施設ヲ速ニ完成シ以テ海運
ノ發達ト漁業ノ振興ニ寄與セラレタ
シトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大
體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ
議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付
候也

昭和二十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家正
内閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

下關市第二水產講習所設立ノ件
下關市西南部町二十六番地ノ一
緒緒業坂本實外一名呈出

右ノ請願ハ未曾有ノ食糧難克服ト新
日本産業ノ將來ニ備フル爲水産業ヲ
シテ一層隆昌ナラシムルハ喫緊ノ要
務ナルニ拘ラス之カ指導者ヲ養成ス
ル專門學校僅ニ三校ニ過キサルハ洵
ニ遺憾ナルニ依リ其ノ位置設備等好

意見書案

條件ニ惠マレタル農林省水產講習所
下關分所ヲ獨立ノ第二水產講習所ト
シ漁船ノ船長同機關長並沿岸漁村ノ
指導者養成ノ機關タラシメ以テ水產
食糧増產ト民生ノ安定ニ資セラレタ
シトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大
體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ
議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付
候也

昭和二十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家正
内閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

最上川並同支流改修ノ件
山形縣最上郡新庄町長橋岡徹呈
出

右ノ請願ハ山形縣最上郡内ヲ貫流ス
ル最上川及各支流ハ年々大雨ニ増
水氾濫シ其ノ被害甚大ニシテ農民ノ
困窮尠カラサルニ依リ速ニ之カ改修
工事ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシ
テ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキ
モノト議決致候因テ議院法第六十五
條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家正
内閣總理大臣吉田茂殿

○議長(公爵德川家正君) 是等ノ請願

モ請願委員長ノ報告通リ採擇スルモト
ニ御異議ゴザイマセヌカ
【異議ナシ】ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家正君) 御異議ナイ

ト認メマス、次會ノ議事日程ハ決定次
第彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日
ハ是ニテ散會致シマス
午前十一時三十一分散會

定價 一部 七十錢

發行所

東京都牛込區市ヶ谷本村町
印刷局
電話九段五〇三〇
振替東京一九〇〇圖書課